



スズメノエンドウ（雀野豌豆） **F**

[マメ科ソラマメ属] **🌸**3~6月
道端などで普通に見られるマメ科の在来植物で、カラスノエンドウ（＝ヤハズエンドウ）よりも小型であることからこの名が付いている。ごく小さな、3mm程度の白紫色の花を着ける。



カスマグサ（かす間草） **🌸**4~5月 **F**

[マメ科ソラマメ属]
道端などで普通に見られる、ツル性でマメ科の在来種。近縁のカラスノエンドウとスズメノエンドウの間くらいの大きさであることが名の由来。



ハマエンドウ（浜豌豆） **🌸**4~6月 **C**

[マメ科レンリソウ属]
日本各地の海岸の砂地に生えるマメ科の在来種で、鮮やかな濃紫色の花を咲かせる。世界各地の海岸に分布しているが、護岸工事や埋め立てなどで、近年は減少傾向にあるという。



アレチケツメイ（荒地決明） **C**

[マメ科カワラケツメイ属] **🌸**8~10月
在来種のカワラケツメイによく似るが、北米原産で、2005年に岐阜県で国内初確認された、比較的新しい帰化植物である。葉柄の小さな蜜腺がキノコ状に飛び出している点で見分けられる。